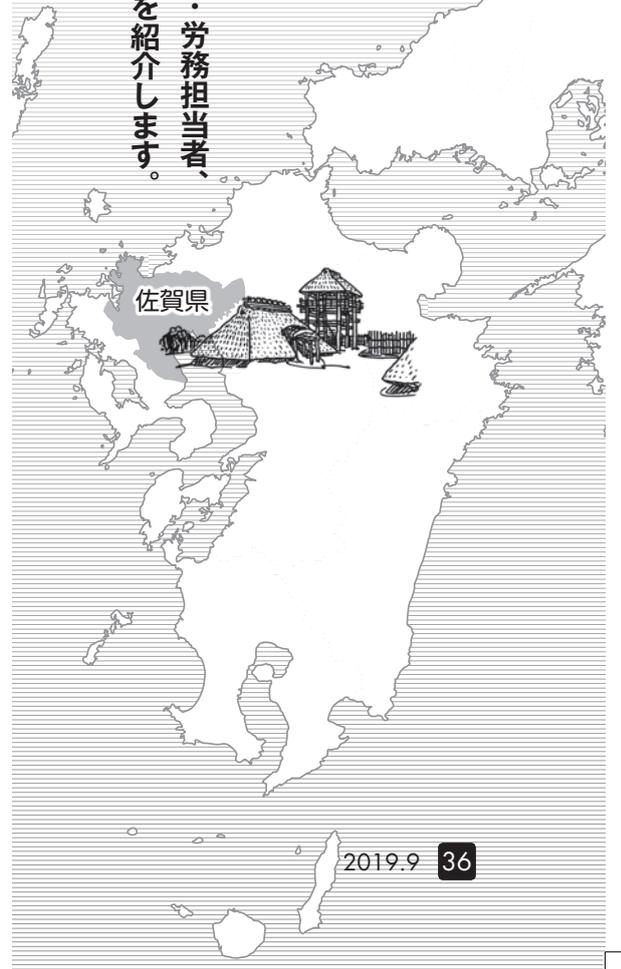


# 北から、南から

第88回  
佐賀県

このコーナーでは、都道府県ごとに、当機構の65歳超雇用推進プランナー※1（以下「プランナー」）の協力を得て、高齢者雇用に理解のある経営者や人事・労務担当者、そして生き活きと働く高齢者本人の声を紹介します。



健康であるかぎり、働きたいと望む  
年齢まで働ける会社を目ざして

企業プロフィール

株式会社有明電設（佐賀県佐賀市）

- ▶創業 1970（昭和45）年
- ▶業種 電気設備工事業（配線工事、空調管設備工事、情報通信設備工事など）
- ▶従業員数 134人  
（60歳以上男女内訳） 男性16人、女性1人  
（年齢内訳） 60～64歳 9人（6.8%）  
65～69歳 6人（4.5%）  
70歳以上 2人（1.5%）
- ▶定年・継続雇用制度  
定年60歳。定年後は、就業規則により、希望者全員を65歳まで再雇用する。その後、一定条件のもと、70歳まで再雇用する



2020年には創業50周年を迎える有明電設本社

佐賀県は、九州の北西部に位置し、東は福岡県、西は長崎県に接し、北は玄界灘、南は広大な干潟の広がる有明海に面しています。朝鮮半島に近く、古来、大陸文化との交流が深く、歴史的、文化的に重要な役割を果たしてきました。

佐賀県といえは、伊万里、有田、唐津の陶磁器や吉野ヶ里遺跡、産業では稲作やみかんなどの農業、有明海のお釜の養殖が有名です。工業では、製品出荷額の多いものとして、輸送用機械器具、化学工業、食品などがあげられます。

当機構の佐賀支部高齢・障害者業務課の峯恭彦課長は、「佐賀県は、江戸時代の武士道論書『葉隠』※2の精神を受け継ぎ、焼き物などに代表されるモノづくりへのこだわりを持つなど優秀な人材が多い。また、自然災害が少なく、アジアにも近く、九州の交通の要衝として良好な地理的環境で

あるなど、企業が立地するうえでの強みや魅力にあふれています。2018（平成30）年には、佐賀の偉業や偉人を振り返る『肥前さが幕末維新博覧会』が開催され、日本の近代化を支えた技と、幕末から明治にかけて学問・医学・政治・外交などの幅広い分野において活躍した人材があらためて注目されました」と佐賀県を誇ります。

また、「当課では昨年、佐賀県開催の『九州・山口70歳現役社会推進大会佐賀県大会』に協力し、前述の博覧会ともコラボレーションしました。佐賀の人・技を生み出した志を活かし、未来にないでいくためにも、今後も関係機関と連携を図るとともに、事業所への相談・助言活動に注力していきます」と峯課長。佐賀支部では、事業所からの要望などに対応し、65歳を超えた継続雇用延長や定年引上げにかかる制度改善の提案、相談活動

※1 65歳超雇用推進プランナー……当機構では、高齢者雇用アドバイザーのうち経験豊富な方を65歳超雇用推進プランナーとして委嘱し、事業主に対し、65歳を超えた継続雇用延長・65歳以上への定年引上げなどにかかわる具体的な制度改善提案を中心とした相談・援助を行っています  
※2 葉隠……江戸中期の武士道論書。佐賀藩士山本常朝が口述し、田代陣基が筆録



**木貞哲夫 プランナー (42歳)**

アドバイザー・プランナー歴:5年

**[木貞プランナーから]**

「会社は、社員、一人ひとりの人生の時間をいただきながら、経営活動を通じて理念を実現しようとしている組織体です。その

組織体に属す社員にとって、自分の提供した時間の対価がお金だけではなく、成長の実感であったり、働きがいであったり、仲間と一緒に過ごす楽しい時間であってほしい、そう思いながら、65歳超雇用推進プランナーの仕事をしています」

**高齢者雇用の相談・助言活動を行っています**

- ◆佐賀支部の峯課長は、木貞プランナーについて、「社会保険労務士としての専門的知識と圧倒的なクイックレスポンスにより、相談・助言件数はトップの実績を上げ、制度改善に向けた提案の提出率も高い、当支部期待の逸材、です。事業所から、『何を相談しても受け止めてくれる、安心感がある』、『悩みに共感して行動してくれる』などの声をよく耳にします。今年度委嘱した高齢者雇用アドバイザーの「頼れる先輩、としても期待しています」と紹介します。
- ◆佐賀支部高齢・障害者業務課には、6人の65歳超雇用推進プランナー・高齢者雇用アドバイザーが在籍し、県内事業所などを訪問して相談・助言活動を実施しています。2018年度は延べ350社を訪問し、65歳を超えた継続雇用延長などの制度改善の提案に注力しました。
- ◆佐賀支部は、JR佐賀駅から福岡方面へ1つめのJR伊賀屋駅から徒歩1分「ポリテクセンター佐賀」内にあります。車椅子でも入りやすいスロープを設置した玄関があります。お気軽にお越しください。各事業所の状況に即した相談・助言を無料で実施しています。

**●佐賀支部高齢・障害者業務課**

住所：佐賀県佐賀市兵庫町若宮 1042-2 ポリテクセンター佐賀内  
電話：0952 (37) 9117

**地域の暮らしを支える仕事**

を実施しています。  
今回は、同支部で活躍する65歳超雇用推進プランナー・木貞哲夫さんの案内で、「株式会社有明電設」を訪ねました。

有明電設は1970（昭和45）年に創業し、公共施設や道路照明灯などの電気工事業を基盤に仕

事を重ね、地域の信頼を得て規模を拡大してきました。2020年には、創業50周年を迎えます。同社では今後も、「技術力と人間力との総合力」を重視した経営姿勢で、電気・空調管工事をはじめ、情報通信設備、エコ・環境関連事業などを手がけ、暮らしの基盤を支える仕事で地域に貢献していきたいとしています。

同社の従業員数は134人、うち男性が124人と多数を占めています。また、全従業員の約6

割が現場の仕事に就き、電気工士や電気施工管理技士といった有資格者が多いことも特徴です。

定年は60歳。その後は、一定条件のもと継続して雇用する環境が以前からありましたが、資格を有するベテランが60歳に到達するようになり、定年後も技術と経験を活かして継続して働き、その技術などを若手に継承してほしいという期待と、60歳以降の生活に安心感を与えたいと考え、2013年の高齢者雇用安定法改正に合わせて就業規則を改定。このとき、「定年60歳。希望者全員65歳、その後、基準を設けて70歳まで雇用」することと決めました。

**継続雇用後の勤務は2コースから選択**

定年以降は嘱託社員とし、働き方については二つのコースを設けています。フルタイム勤務の「通常出勤コース」と「月16日出勤コース」です。従業員は定年を迎える前の58歳時点で部門長と面談し、60歳以降の働き方の希望などを伝えます。

継続雇用は1年更新とし、更新の2カ月前に部門長と面談し、更新1カ月前までに次の1年の働き方を決定します。

会社が求める継続雇用者の役割について、同社の峰守浩二総務部長は、「自分のペースで働きたいといった希望がある場合、軽作業などを担当し



峰守浩二総務部長

てもらったことありますが、基本的には戦力として定年前の仕事を継続してもらいます。また、現場では若い班長を補佐して成長を見守る、後進の育成役を期待しています」と話します。

こうした期待を高年齢従業員に伝えるとともに、2017年には従業員が定年後をイメージし、長く働きたいと思うきっかけづくりとして、50歳以上を対象に当機構の就業意識向上研修を実施しました。60歳以降の働き方や収入・支出を把握する機会となり、研修の参加者から「60歳以降の生活を考えるよい機会となった」などの感想が聞かれ、大変好評だったとのこと。今後も定期的な実施を考えているといいます。

さらに、従業員が元気に長く働けるように「健康診断」は法定基準にプラスした内容とし、必要

に応じて保健師による生活習慣病予防のための指導を実施しています。また、有給休暇を取得しやすい職場づくりに努め、高年齢従業員に率先して取得するようにうながして、効果が上がっています。木貞プランナーは同社の取組みについて、「課題をとらえて、しっかりと対応されています」と高く評価し、「一人ひとりをよく見て、個々に適した対応をされています。従業員を大切にしている会社であると思います」と話します。

60歳以上の従業員は現在17人で、最高齢者は72歳。70歳以降の雇用は運用で対応し、72歳の方は専任技術者（担当業種の技術的総括責任者）として活躍しています。また、就業規則を改定して、60歳以降の働き方を明確にしたうえで、高齢者の採用も積極的に行っており、「施工管理技士の資格を持ち、現場経験が豊富な人材を採用できています」と峰守総務部長。60歳以上の17人のうち、5人がここ数年のうちに採用した人材です。今回は、継続雇用で働いているお二人にお話をうかがいました。

### 周囲から頼りにされる存在

陣内洋子さん（64歳）は45歳で入社し、最初の10年間は営業部に在籍し、家庭にオール電化などを普及する仕事を担当していました。以降は、総

務部で事務や接客などさまざまな業務を担当。現在も同部にフルタイムで勤めています。

「仕事が好きなので、定年後も働くことを迷うことなく選びました」と笑顔で話す陣内さん。昨年、それまで担当していた仕事の大半を後進に引き継ぎ、最近は一週間のうち1、2日は鳥栖営業所に通勤し、事務部門の下地づくりをしています。仕事で心がけているのは、「確認を怠らないこと」。また、接遇も大切にしています。以前は自己流でしたが、昨年、会社で接遇研修があり、とても勉強になりました」と話します。

接遇研修の後、さらに自分で勉強をして、この

総務部で集中して仕事に取り組む陣内洋子さん



施工管理技士として、  
施工図の作成や工程管理を  
行う鷺崎喜英さん



ほとんど秘書技能検定2級に合格し、「次の準1級合格を目指して、勉強を続けています」と陣内さん。ていねいな仕事ぶりを取引先について熟知していることから、ほかの従業員から「頼りになる存在」と、親しまれています。「健康であるかぎり、できるだけ長くこの会社で働いていたい」と話してくれました。

**経験と資格を活かして活躍し続ける**  
鷺崎喜英さん（69歳）は鉄鋼や土木建設の仕事を経験した後、59歳で入社し、有明電設に勤めて

11年になります。「過去の経験を活かして、電気設備工事を学びたくなった」ことが入社動機だとのこと。

物をつくり上げる仕事に魅力を感じ、1級施工管理技士、2級建築士など多数の資格を持ちます。現在は、有明電設武雄営業所の空調管技術部に所属し、月16日勤務で、建物の空調・換気設備の設計・施工などを担当しています。座右の銘は「一隅を照らす人間であれ」。いまいる場所で精いっぱい努力することをさす言葉で、「目の前の仕事を確実に成し遂げることに努めています」と、仕事に対する姿勢を話します。

また、「この年齢まで自分を必要としてくださる会社感謝しています。仕事をしているということは、社会に少しは役に立っていると思えることです。最後の1日まで気を抜かず、いまの仕事をやり遂げたいと思います」という抱負とともに、健康のために「手づくりの食事をきちんととることを心がけています」と話してくれました。

### 若い従業員の安心感を醸成

峰守総務部長は同社の高齢従業員について、「技術、経験に加えて、取引先の方々や同業他社のこととよく知っていて、急な仕事の調整など、いざというときに対応できる力も持っていますので、

心強い存在です。電気関係の仕事は、資格を取り、実績を積むことで70歳になっても続けることができます。若い人たちにはそういう話をしますし、実際に活躍している先輩が近くにいる指導をもらえることから、若い従業員にとっては目標にもなっています。将来の安心感につながっているように思います」と話してくれました。

また、「市場規模が縮小しつつあるこれからは、従来のような経済的成長を毎年続けることはむずかしいと考えます。今後は、現状を維持しながら、当社で働く従業員のワークライフバランスを考え、いくことも重要です。必要な資格を取得することを支援して仕事の質を高めつつ、意欲を持って仕事に取り組み、健康であるかぎり、働きたいと望む年齢まで働ける会社を目指すことが大事ではないでしょうか」と、同社の今後と従業員の働き方について語ります。

現在、継続雇用者も含む賃金体系の見直しをしているという同社。峰守総務部長は「年金受給開始年齢などをふまえ、継続雇用後の生活に不安がないようにしていきたい」と見直しの目的を話します。また、65歳への定年延長も視野にいられており、「引き続き木貞プランナーに協力をいただきながら取り組んでいきたい」と、さらなる制度の充実に向けた意気込みを話してくれました。

（取材 増山美智子）